

令和 2 年度第 2 回扶桑町総合教育会議・議事録

名 称	令和 2 年度第 2 回扶桑町総合教育会議
日 時	令和 2 年 1 1 月 1 9 日（木）午後 1 時 3 0 分から 2 時 2 2 分
場 所	扶桑町役場 2 階 大会議室
出席者	<p>鯖瀬町長 澤木教育長 加藤教育長職務代理者 松山教育委員 千田教育委員 江口教育委員 志津野教育次長兼学校教育課長 仙田生涯学習課長 小川文化会館長 高木健康福祉部長 糸井川健康福祉部参事兼多機能児童館等準備室長 小室福祉児童課長 事務局 紀平総務部長 長谷川政策調整課長 松井政策調整課統括主査 傍聴者 なし</p>
議 題	<p>1. あいさつ 2. 協議事項 （1）扶桑町教育大綱の改正について （2）まちぐるみでの次代の育成について ・放課後児童クラブ館の多目的活用とコミュニティスクール・地域学校協働活動の推進 3. その他</p>
内 容	<p>1. あいさつ （町長） 今年度につきましては、第 1 回の総合教育会議を 8 月に開催を予定していたのですが、丁度、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が出されていた中でございましたので、第 1 回につきましては、書面会議とさせていただきますことをまずもってお許しください。コロナ感染症につきましては、秋口に少し落ち着いてきたのですが、今はまた第三波と言われる状況になっておりまして、非常に危惧されるところでございますが、本日につきましては、換気に十分注意をさせていただきますして開催をさせていただきますので、ご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>さて、今後の教育行政の課題等でございますけれども、今年度が扶桑町教育大綱の改定の年となっております。それから、先ほど申し上げましたが、この新型コロナウイルス感染症の影響で子どもさん方、父兄の方につきましても、生活に著しく影響が出て</p>

いるかと思えます。全国的には虐待が増えているとか、そういう報道もされております。しっかりとお子さん方の生活を守ることが今後大事ではないかと考えております。もう1点が、社会全体でございますが、デジタル化が急速に進んでおります。小中学校につきましてはGIGAスクール構想がございます。それを元に小中学校の皆さん一人一人にiPadを一台ずつ用意をさせていただいて、ICT教育を進めていきたいと思っております。こちらは12月末までに整備ができることになっております。ハード面は整備ができますが、あとは、それを使ってどういったICT教育を進めていくかということが重要になってくるのではないかと考えております。それから最後になりますが、今、各4小学校の敷地内に放課後児童クラブ館を設置しまして2年目になります。こちらにつきましては、お子さんを預かっている時間以外の空き時間等もございますので、もう少し教育や子育てに有効活用できないかと言う声を頂いておりますので、そういったことも本日ご意見を頂ければと思っております。限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見をいただいで進めていきたいと思っております。本日はよろしくお願いたします。

2. 協議事項

(1) 扶桑町教育大綱の改正について

(議長(鯖瀬町長))

協議事項に移ります。(1) 扶桑町教育大綱の改正について、事務局説明をお願いします。

(政策調整課統括主査)

前回、委員の皆様から内容につきまして特段ご意見を承っておりませんので、今回のものと前回配付させていたものとの大きな変更点はございません。

教育大綱は、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるもので、詳細な施策について策定することを求められているものではありません。現行の教育大綱の計画期間が今年度で終了となるため、来年度から5年間の教育大綱を定めるため改定を行っております。

前回、現行の教育大綱との比較をというご意見をいただきましたので、参考資料として現行の教育大綱を付けております。教育

を巡る環境は6年前と比べかなり変わっております。今回の改定では時代の流れに即するように、ICT教育などの記載を入れております。また現行の教育大綱は施策部分の記載もあり少し細かいものとなっておりますので、今回は分かり易くシンプルなものということ念頭に置き作成しております。前回から少し語句の調整はしておりますが、内容に変更はありませんので、これで進めさせて頂きたいと思っております。1点、2枚目裏面の語句に誤りがありましたので訂正します。『生抜き抜く』となっておりますが、『生き抜く』の間違いですので訂正をお願いします。

続きまして、資料No.2の大綱策定スケジュールをご覧ください。総合教育会議のところ、11月本日第2回目の総合教育会議を開催させていただいております。今後のスケジュールですが、この会議終了後、議会にパブリックコメント実施の報告をし、12月7日（月）から1月5日（火）までの30日間、政策調整課窓口及び扶桑町ホームページにてパブリックコメントを実施します。パブリックコメントで出た意見を見て、必要に応じ準備委員会を開催し、2月にパブリックコメントの結果報告と最終案を提示させていただく流れとなります。また、議会報告は3月議会を予定しております。

議題（1）については以上です。

（議長）

ただ今、（1）の説明が終わりました。扶桑町教育大綱についてご意見・ご質問等の時間にさせて頂きたいと思っております。何か皆様方からご意見・ご質問等がございましたら、お願いいたします。

（松山教育委員）

まず、扶桑町の第5次総合計画において、小学校のエアコン設置が提示をされておりますが、中学校までやっていただき感謝しています。今年は非常に暑く、中学校でも登下校に全校生徒に自転車通学を熱中症対策のためにやった訳ですが、そういう環境の中で、エアコン設置をして頂いたおかげで生徒が快適に勉強できましたことは大変嬉しく思います。その点お礼申し上げます。

（議長）

ありがとうございます。エアコン設置につきましては、滞りなく進めることができましたので、生徒・児童の皆さんも安心して

過ごして頂ける環境は整っておりますので、また、よろしく願
いいたします。ありがとうございます。

(松山教育委員)

それと、今、町長の挨拶の中でお話がありましたが、放課後児
童クラブ専用棟の設置におきまして、あれは学校の校内に設置し
ていただきましたので、大変良かったと思います。学校児童が授
業を受けてから交通事故の心配なく移動できたということ、そう
いう点では校内に建設して頂いたのは本当にありがたく思いま
す。それと、今、町長のお話の中でこれから使い方を考えていく
ということにおいて、今、国でも河野大臣の元に縦割り行政の見
直しということをやってみえますけれども、今回のことでも、専
用棟が空く時間ができたら、小学校の意見を聞いて教育課と
話をして何とか進めて頂きたいと思います。以上です。

(議長)

ありがとうございます。放課後児童クラブ館が校内にできた
ということは私もよかったと思っております。放課後児童クラブ館
の使い方につきましては、引き続き(2)の議題の方でも進めさ
せて頂きたいと思いますので、よろしく願います。その
他に何かご質問等ございますでしょうか。

では、(2)のまちぐるみでの次代の育成についてにいきたい
と思います。

(2) まちぐるみでの次代の育成について

(議長)

事務局説明をお願いします。

(政策調整課統括主査)

ここでは「放課後児童クラブ館の多目的活用とコミュニティス
クール・地域学校協働活動の推進」をサブテーマとして願
いいたします。

まず放課後児童クラブ館の概要をご説明いたします。ご存知の
とおり町内4小学校下に1つつクラブ館を設置しており、通常
期の開設時間は学校下校時から午後7時、代休日は午前7時30
分から午後7時まで、また春・夏・冬休み期間中は午前7時30
分から午後7時まで開設しており、長期休み期間中のみ土曜日も

開設しています。通常期は、平日は学校下校時までの時間と土曜日・日曜日、また、長期休暇中の日曜日は施設利用がない状況です。

コミュニティスクールと地域学校協働活動についてですが、今年度、扶桑町地域学校協働活動推進員を設置しました。これは、地域学校協働活動を行う地域住民の方へアドバイスや援助を行うことを目的としています。また、保護者を含め地域住民の方などへ学校運営の参画や支援・協力を促進し、学校と地域住民が協働して児童生徒の豊かな学びと育ちを目指すことを目的として学校運営協働協議会の設置をしました。学校と地域が連携し子どもたちの教育に当たっていくこの活動等も踏まえ、放課後児童クラブ館の運用を協議していただけたらと思います。

(議長)

今、説明がありましたとおり、放課後児童クラブ館、利用時間帯は今申し上げたとおりでございます。こういうことも含めまして皆さんから放課後児童クラブ館の使用につきまして、ご意見・ご質問を賜りたいと思います。

(千田教育委員)

放課後児童クラブ館は以前、学供にあったと思いますが、その頃は地域の方たちの利用があったために午前中や下校時までの間に多く活用されていたかと思います。今度は独立して児童クラブ館だけが学校の中にできた状態で、先ほど説明があったように、下校時から7時までが普段の時なので、朝から下校時までには完全に建物が空いてしまっているという状況ですよね。学校訪問の時に見させて頂いたらとても素晴らしく、山名小学校で見せていただいた時は、木の感じで優しい建物で、ここが活用されていないのは本当に惜しいと思いました。議題の後ろに書いてある地域学校協働活動のメンバーの方たち、主にスクールガードとかスクールボランティアとか呼びかければもっと人材が集まると思います。そういう方たちを巻き込んで朝から下校時までの完全に空いた時間に地域の子どもさんに活用できたらと思います。今、福祉センターの3階は子ども支援の方たちにとっても人気があって、おもちゃ図書館もそうですし、あと、斎藤保育園と高雄保育園の「すくすく」と「にこにこ」でも子ども支援の人たちが来られているのですが、必ずどこかに居場所があり、子育て世代の方がす

ごく安心して子育て、お母さんたちと交流できて、情報も得られるということで、既にそういうところがすごく人気があります。せっかくですので、このお金をかけて作ったクラブ館がそういう世代のお子さんたちも使えればと、おもちゃや遊具も充実していたので、それを見させていただいて、そこにもボランティアの方はいらっしやいましたけれども、何かもっとできそうな感じを視察させてもらった時に受けました。是非開放していただけないと思います。

(議長)

ご意見ありがとうございます。何か今のご意見に対しまして担当をお願いします。

(福祉児童課長)

今、現在、説明がいろいろありましたが、放課後児童クラブ館下校時からということになっておりますが、その準備の兼ね合いもありまして、職員は午後2時にはクラブ館で職務を開始しています。ですので、大体、午前中は空いているという状況になっています。説明にもございましたとおり夏休み期間中は朝から晩までということになりますので、そういった時には終日使用している状況になっております。確かに今空いている時間につきましての利用は課題と考えておりますので、関係機関と協議しながら対応を進めていけたらいいと考えております。ご意見ありがとうございます。また宜しく願いいたします。

(議長)

私も、まだまだ子育て支援をどんどんやっていかなければならない時代だと思っておりますので、何とか多くの方に有効に使っていただけるように、内部の調整をしながらご報告させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(加藤教育長職務代理者)

今現在クラブ館の鍵はどなたが保管しているのですか。

(福祉児童課長)

鍵につきましては、クラブ館の支援員と福祉児童課で管理しています。

(議長)

学校は。

(福祉児童課長)

学校はないです。2箇所です。

(議長)

それも課題ではあります。空いた時間をどなたが管理するのか。誰が空けたりするのかということは課題の一つではありますけれども、それはまたしっかり協議していかなければならないことだと思っています。その他には何かございますか。

(千田教育委員)

子育て世代の方たちと別のボラティアの経験から交流することがあるので声を聞くのですけれども、扶桑町は長く住んでいる我々よりも町外の方から割りと好感度が高いというか評価が高くて、東海3県の住みたいまちランキング13位でしたか、あれに反映されているのは子育て世代に人気があるからではないかという気がします。中にいると分からないのですけれども、外の人から聞くと、共働きの若い夫婦たちは急行が停まって交通の便がよいということだけではなく、あと、工場などの公害がない、田畑があるという癒やされる環境を強みにしてもっと若い人が流入するような、少子高齢化に対抗できるようにもっと子育て世代が流入するような、今柏森や高雄地区に住宅が増えていますが、もっと若い世代を呼び込める。今みたいな子育て支援から、学校のきめ細かい対応に繋がっていくとは思いますが、それを充実してもらって若い世代が流出しないようにしつつ、町外からも若い世代を、そのためには子育て支援と学校教育なのですけれども、アレルギーを持ったお子さんもすごくありがたいという声も聞きますし、発達の遅いお子さん、支援員さんは他よりも多くはないでしょうけれど、読み聞かせに伺っていて思うのは支援員さんがいてくださるので、落ち着いている。朝の読み聞かせに、みんなと同じように落ち着いて話しが聞ける。あの状態は学校全体を落ち着かせていると実感するのです。なので、発達支援のきめ細かい対応、アレルギーのお子さんへのきめ細かい対応、学校全体が落ち着けるこの環境を是非維持していただきたい。小学校4校とも伺うといつも落ち着いています。中学校もそうですが、この環境

が崩れないように充実させていただきたいなど、タブレットの活用もそうですが、お願いします。

(議長)

ありがとうございます。子育て支援ということであれば、今計画しているのは児童館もありますので、そちらの方も、町外にしっかりとアピールなどさせていただいて、いわゆるシティプロモーションということで発信をして、まだまだ多くの方が流入していただけるように町の方もいろいろ工夫をしながらやっておりますので、更にそういった色々な資源を使いながら町の魅力をアピールしていきたいとは考えております。

(千田教育委員)

ホームページを是非、活用して宣伝してください。

(議長)

ホームページにつきましては、今、スマートフォンにも対応していないので、来年度に基本的なシステムを入れ替えてスマートフォンに対応したものに改良しようと思っておりますので、そうすると少し見やすくなるし、もっと色々な情報を載せられるようになると思いますので、そちらの方はしっかりと進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(加藤教育長職務代理者)

児童クラブ館の活用ということで、今お話を聞きますと、活用されていない時間帯が殆どで、それは勿体ないなという気持ちを強く持ちました。実際のところ午前が全部空いている。職員は2時からみえるということですが、そうすると午前が全部空いている。立派なものをせっかく作ったのに宝の持ち腐れになってしまうのではないかということを思います。コミュニティスクールの関係で考えてみると、活用に当たっては今は福祉児童課の方の責任でやってもらうということですが、これからは特に学校教育課と福祉児童課の方の連携というものが益々大切になってくるのではないかなと思います。クラブ館の活用としては、例えば、その時間を利用して地域の芸能関係、伝統的にあったような芸能関係の場であったり、それから、学習の効率化を目指した、学力向上を目指したものだとか、スポーツの多様化をしていただいたり、

安心安全な場として、例えば見守り隊の会合の場だとか、考えてみればたくさんの会合の場所として最適ではないかなと思います。そのところをよく考えて頂いてフルに活用できるようなものの考え方をしながら柔軟に対応できるようにこれからやってもらいたいなと思います。以上です。

(議長)

ありがとうございます。今、国の方でも縦割り行政の解消というのはやっていますので、当町としましてもそういった弊害を無くすということはこれからの時代の必須だと思いますので、またしっかりと中で連携を取って進めていきたいと思っています。他には何か。

(教育長)

それぞれの課が縦ではなく横に繋がるというお話をいただいているのですが、教育委員会としては地域学校協働活動というものがございまして、地域のいろいろなお力を学校に集めていただいている、まだ始めたばかりですが、扶桑町というところは本当に地域の方が学校に惜しまず力を貸してくださる。先ほど話題になったスクールガードさんとか読み聞かせの方だとか、またはいろいろなご興味をもった人が来て頂いているので、そういった方々が空いているクラブ館を活用されて、例えば「ぷらねっと」というまちづくりの団体さんがいらっしゃるのですが、いろいろな自分たちのご興味で活動されていて、これは政策調整課の所属になると思うのですが、福祉政策、教育委員会も連携して、このまちぐるみで次代の育成というところに関わっていけば児童クラブ館は本当に良い場所になると思います。高齢の方が70代くらいであって、まちのために何か貢献したいというお気持ちを持っていらっしゃる方が多くて、そういった方の生きがいにも繋がっていくような、元気な高齢者の方の生きがいになって、子どもたちの元気を頂く。学校側もそうした方々のエネルギーやらそういう温かいお気持ちやら活動力をいただいて、winwinな活動がこの場所をお借りしてできればいいなというのはすごく教育長として思いますので、横に繋がっていきたいと思っています。

(議長)

ありがとうございます。教育長からも今お話ありましたけれども、町側と教育委員会側しっかりと連携を取って、本当にやってやれないことは何もないと思いますので、しっかりとこの中で検討して課題があれば、潰しながらやっていきたいと思います。よろしく願いいたします。その他に何かございますか。

(加藤教育長職務代理者)

コミュニティスクールをやっていこうということで、地域と共にある学校づくりをどうやってやるかということで、今言われているのは、やはり労働時間の短縮だとか、いろいろな働き方改革と言われていますが、新たなことをやろうとすると結局、例えば教職員が負担を感じる場面が出てくるのではないかということを思います。そうではなくて、コミュニティスクールを協議会を作ってやることによって、もっと教員同士の活きが上がって負担も減らして、地域住民が学校へ、子どもたちのためだとか、地域と保護者が一緒になってやっていくというのがコミュニティスクールの原点になるということを思うと、そういう面で、学校を良くする。子どもたちの生き生きとした姿を大切にするという学びをもっと進化させる、地域の教育力をいかに活用するかだとか、保護者と地域の連携が元にあって、そういうものが一体となっていけないかなということを思うのです。やはり、今だと学校のコミュニティスクールということではなくて、学校は学校で単独で、例えばスクールガードは完全に別個扱いになっているという感じになっていますが、一つの組織の中の、コミュニティスクールの組織の中の一つの分野として安心・安全な学校づくりのためにボランティアをするスクールガードがいるという、そういう、その中にも扶桑町に関わる芸能とかそういうものを更に進化させよう、文化を発展させようだとか、子どもたちの学びの真の姿を学ばせよう。例えば、昔からのいろいろな職人さんだとかいろいろな人の経験を体験として聞くという体験学習みたいなものだとか、そういうものが現場を含めて、それが一つの枠の中、組織の中で動いていくという捉え方をしながらコミュニティスクールというものを発展させたらどうかということを個人的には思います。以上です。

(議長)

ありがとうございます。

(教育長)

今、加藤教育委員さんが言うてくださったように、地域のお力を組織立てて学校が地域と共にあるということを目指してはおりますので、今、そういったコーディネートをする地域学校協働推進員が1名委嘱ということで、やっと一歩進みまして今年度扶桑中地区で始めたばかりで、まだまだ地域の方が学校に入ってる数少ないですし、まだ組織だっちはおりませんが、長期的展望により、そういった教育委員さんが言うてくださったような学力を上げることも、地域のことをよく知るといこともまた、高齢者、年配の方、経験者の方からいろいろな話を聞いたり、体験をしたりもどんどん進めていきたいと思っております。例えば、扶桑町の特産である守口大根について共同学習のように進めています。江口教育委員さんのお子さんが地域のそういったものを勉強したということがありますが、何かあったらお聞きしたいです。

(江口教育委員)

一番下の子が今中学1年生ですけれども、その子よりもう少し前からやっていたと思うのですが、守口大根を育てるとい授業があって、それが本当に楽しかったみたいで、体験型の授業で、作ってらっしゃる方が来て、一緒に育てる。2、3年がかりでやっているのですね。育てて、それを家に持って帰ってきて、家で食べるという方針で、とってもいい授業だったと思います。

(教育長)

随分、これは続いておりまして、産業環境課の方から依頼があり、郷土の食べ物を育てるところから3年がかりで、3年生で育てて、5年生で食べるので漬け込んだりの現場に行って、漬けたりして、郷土を愛する子どもを育てるといことでこれが扶桑町の特産でこういうふうに作られるといのを実際目を見て、やってといのはすごく大事ですので、そういった、きちんと取り組んでいくといことを、どんどんやっていきたいと思っております。できるだけ全地区でできるように考えておりますので、この町全体でそれが繋がって、全小中学校から繋がって全扶桑町

の方もクロスにいろいろな力を学校に入れていただけたといいかなと思います。そういう意味ではぷらねっとさんなんかとゆるやかに繋がっていたりするといろいろな体験学習や経験がある方からいろいろなジャンルの学びをさせていただけるのではないかと思います。

(議長)

ありがとうございます。一つご参考までに、今守口大根の圃場で新しくとろろ芋を、これは愛知県でブランド化されたものなのですが、砂地で作るのも非常にまっすぐ伸びるとろろです。そういったものを堤外の圃場で作り出しましたので、また機会があればすすめていただけるとよろしいかなと思います。これは参考までですけれども、そういったことを含めまして、地域のことを子どもたちに学んでもらうのは非常に大切なことでもありますし、いわゆる地産地消をしっかりと理解してもらいながら、郷土のことを知ってもらえるように、町としてもこれからもすすめていきたいと思っております。

(松山教育委員)

今、町長が言われたとろろ芋、自然薯ですが、実は私の従兄弟がやっております。兄の畑で、うちの本家の畑で始めたものですが、丁度、扶桑町で3人ばかり作られるという有志の方が見つかったと話をしております。

(議長)

私も見せてもらったのですが、本当にまっすぐでびっくりします。普通は管に入れてまっすぐするというのですが、何もしなくても本当にまっすぐ伸びるということで、出されたものを町としてもまたピーアールしていきたいと思っております。ありがとうございました。

(松山教育委員)

今、話しの中で一つ思ったのですが、私も扶桑町の神楽囃子の保存会を鷹羽講の関係でやっている訳ですが、あれを実は小学校の子どもを対象に、殆どが高雄の地域の方がやってみえまして、あと北山名と柏森に一箇所ですか、ああ言ったものは子どもと一体になって、教えてやっているというのもコミュニティストーク

ルの方に入るのかどうか。

(教育長)

地域での活動のことですか。

(松山教育委員)

そうです。地域での活動です。今、神楽囃子の管轄は。

(議長)

生涯学習課です。

(生涯学習課長)

神楽囃子は保存会がございまして、それぞれ地区の方で子どもさんに教えてやってらっしゃるのですが、今年に関してはコロナの関係で殆ど活動できないというのが実情なのですが、補助金もお渡しして、伝統ある芸能ですので、続けてやっていただいています。コミュニティスクールとの関係はどうなのでしょう。現状はそういう状況です。

(松山教育委員)

昔は文化会館に集まって、発表会をやっていました。今は一箇所しかやっていない。

(生涯学習課長)

町民まつりで順番に一団体が発表されています。

(松山教育委員)

昔は、多数の団体でずっとやっていました、確か。

(議長)

昔は文化庁からかなりの補助金をいただいております、それでああいう全体、一遍に集めて発表するということができのですが、それがなくなってから、地域の方々もあそこまで運ぶのにも結構大変だというご意見もございまして、全体での発表会はあれから無くなっております。

(松山教育委員)

私が教えている時の感じとして、発表会があるとそれに向かって子どもは一生懸命やるわけです。発表会がないと、やはり行事があればやりますし、だらだらという感じになるのです。

(議長)

それはそうですね。やりがいは大切だと思います。また、良い方法があれば。

(松山教育委員)

良い方法をご検討の程。

(議長)

わかりました。その他何かありますか。

(加藤教育長職務代理者)

もう一ついいですか、コミュニティスクールにおける学校運営協議会制度のことについて、先進県でコミュニティスクールの組織の頭になるのは、今までだと学校を支えているもの全てが校長が一番トップになります。全ての責任が校長になります。コミュニティのスクールで言うと、委員長というのは学識経験者であって副委員長も2人くらいいて、同じような学識経験者であって、その他の委員として校長や教頭や教務主任が入ったり、その時のPTAの会長や副会長が入ったりというような組織があって、そこから枝葉があって分科会を作る。いろいろな部会をつくってやれるものから順番にやっていくということで全てを学校が総括してやるということではなくて、部会は部会で責任を持ってやるという話がコミュニティスクールの在り方ではないかと思います。学校は学校で一生懸命考えているのですが、それ以上に保護者や地域の人意見を学校運営に反映させるというそういう面でコミュニティスクールというのはこれからの大きな道ではないかなと思います。以上です。

(議長)

ありがとうございます。コミュニティスクールですので、是非そういったことを方面付けていくためにも、施設としてはクラブ館を活用していただければよりいいかと思っておりますので、そちらの

方はしっかり検討していきたいと思います。

3. その他

(議長)

その他として何かございますか。よろしいですか、それでは以上で次第のほうは終了させていただきたいと思います。

【午後 2 時 2 分 終了】